

教育委員会会議の概要（令和4年8月定例会）

- ◆ 日 時 令和4年8月22日（月）午後2時06分から午後3時37分まで
- ◆ 場 所 教育局 第1会議室
- ◆ 出 席 者

教 育 長	福 田 洋 之	出 席
委員・教育長職務代理者	花 渕 浩 司	出 席
委 員	阿 子 島 佳 美	出 席
委 員	梅 田 真 理	出 席
委 員	川 又 政 征	出 席
委 員	後 藤 由 起 子	出 席
委 員	山 田 理 恵	出 席

◆ 会議の概要

- 1 開 会
- 2 議事録の承認 6月定例会
- 3 議事録署名委員の指名 阿 子 島 委 員
- 4 報 告 事 項

（1）令和5年仙台市はたちの集いについて

（生涯学習課長 説明）

資料に基づき報告

後 藤 委 員 説明にあったように、昨年はスペースを狭くしたことにより人が密集してしまったと思うが、今年は公園の中も自由に移動できるようにするというのでよいか。

生涯学習課長 入場する際には、カラーコーンやコーンバーで動線をつくり、基本的にはそのみ通れるようにする。退場する際には、昨年は第1部の人の出口を1箇所しか設けていなかったことで公園には行けないようになっていたため、今回は第1部の人も公園に行けるようにしたい。

後 藤 委 員 立ち止まって話さないようにという意図は理解できるが、たくさんの方が集まっているなか、スペースを狭くして動線を集中させてしまうのは逆効果である。広い場所を使えるように工夫していただくほうが密集の対策になると思うので、ぜひお願いしたい。

(2) 第12回全国国分寺サミット2022 in 仙台・陸奥国分寺について

(文化財課長 説明)

資料に基づき報告

- 阿子島委員 今回仙台市で初めて開催されるということで、関心を持つ方の多くが参加されると思われるが、やはり新型コロナウイルス感染症の状況もどうなるか分からないため、ウェブで視聴できるようにすることなどを考えているか聞かせてほしい。
- 文化財課長 新型コロナウイルス感染症の状況にかかわらず、せんだいTubeや教育委員会のユーチューブで同時配信をすることを検討している。
- 阿子島委員 なるべく多くの方に関心を持って見ていただけるよう、情報発信をお願いしたい。
- 花淵委員 開催場所の聖和学園にあるサールナートホールの定員は何名か。
- 文化財課長 定員は800名となっている。
- 花淵委員 市民の参加者の上限も800名ということか。
- 文化財課長 参加者の上限について、新型コロナウイルス感染症の状況もあり、多くて定員の半分程度と想定している。
- 花淵委員 先着何名など、事前にアナウンスはするか。
- 文化財課長 先着という形では考えていないが、これまでの他都市での開催実績なども踏まえると、先ほど申し上げた400名までには至らないと想定している。

(3) 令和4年度全国学力・学習状況調査結果の概要について

(学びの連携推進室長 説明)

資料に基づき報告

- 後藤委員 生活調査の部分について、学校だけでは難しいところもあり、家庭の力がとても大きく関わってくると思っている。提供いただいた家庭向けのリーフレットはとてもありがたく、私も毎年このリーフレットを頂くと子どもに必ず見せている。親が言うだけでは届かないところも、こうして数値化され、検証された結果として、例えば1日1時間以上の動画視聴はいけないんだと、子どももちゃんと受け止めている。難しいところもあるが、家庭の協力なくして生活状況は改善されないと思うので、家庭にもアプローチをかけていただき、保護者や家庭からの変化を促すような取組みを引き続き行っていただくと助かる。
- 山田委員 調査結果について、どのように分析され、活用されているのかを流れで説明していただき、よくわかった。かなり詳しくやっていると感じた。いろいろな学習だけではなく、資料にある「たく生き実践委員会」、この「たくましく生きる」というのは、私はこれから非常に重要なポイントになるのではないかと思っている。たく生き授業プラン集も拝見したが、これらは何の授業の時間に行っているのか、また、先生方はこのプラン集を参考にしてどのように授業を組み立て、たくましく生きる力を育成するという方向に持っていくのか、お伺いする。
- 学びの連携推進室長 まず、何の授業の時間でというところだが、授業プラン一つ一つに関連教科等という項目を記載しており、この活動に適した主な教科を示している。ただ、内容によってはこの関連教科等とは違った形で、例えば総合的な学習の時間や、朝の会などのちょっとした時間でエッセンスを抽出したものを行うこともある。

2つ目の質問について、1つ目の質問にも関連してくるが、一応教科の目安は示しているものの、今言ったような授業時間以外で活用する場合もある。また、1回やっすぐに力がつくというものではないため、小学校段階から自分づくり教育の年間教育計画を作成し、その年度に担任した子どもたちの実態に応じ、仙台自分づくり教育で育む5つの力ということで説明したが、学校でどこに重点を置くか、学級の実態に合わせどういった力を身に付けさせたいかを検討し、それに応じた授業プランの幾つかを活用している。また、中学校の職場体験や、小・中学校の子ども体験プラザでの活動など、そうした体験的な活動と関連させながら実施するようにしている。そのため、各学校の実態や先生方の見立てにより違いはあるが、様々な活動が、点でなく線であつながらつながるような形で指導していただくようにしている。

梅田委員 全体の流れも示していただき、とても分かりやすくなった。おそらく学校でやらなければならないこともたくさんあり、例えば、たく生き授業プラン集には良い実践例がたくさん出ていると思うが、学校で時間を取って中身をしっかりと確認してどういったものが使えるか、あるいは5つの力のうちどこに重点を置いてやっていくかを検討すること、また、送られた調査結果を基に学校ごとに考え、この資料を活用するため時間を確保することは非常に重要だと思う。大切だと分かっているけど、ついでなことが優先されてしまうということはよくあることなので、ぜひその時間をどこかで確保し、そして実践に結びつけられるよう、また、数字で示すのは難しいかもしれないが、どの程度活用できたか、活用しにくい点などはなかったかなどのフィードバックがあつたほうが、次に向けての資料作成や準備につながるのではないかと思った。

調査結果については、ICTの活用の部分で、GIGAスクール構想で1人1台端末が実現し、各項目もこれから改善されていくと思うが、不登校児童生徒や特別な支援を必要とする児童生徒に対してどのくらい活用しているかという項目では、まだ数値が低い。このあたりがもっと改善されるよう、先生方自身の工夫でいろいろな使い方を示すことにより、数値だけではなく、子どもたちのためにも生かされていくのではないかと思った。

川又委員 正答数分布グラフについて、中学校国語のみ最大値が25%となっているが、ほかは全て20%となっている。20%を最大値にして他とも比較できるようにお願いしたい。

また、各グラフの結果で、中学校の数学と理科の分布が他とは違い、全体的に平らになっているので、全国的な傾向と言えそうなのだが、どのような理由があるのかを十分に分析していただければと思う。

阿子島委員 個に応じた指導の部分で、算数や数学の授業における少人数の指導は全国を上回っているが、習熟度に応じた指導が全国平均よりも下回っている。算数や数学は、一度分からないと次のステップに上がれず、つまずきの原因になる可能性があるため、時間があれば習熟度に応じた指導の機会を増やしていただきたいと思う。

また、小学校教育と中学校教育の連携について、小学校と中学校のいずれも各項目が全国平均を下回っている。いろいろなところで小中連携が言われているが、各教科においても、先生方の情報交換などを密にいただき、小学校から中学校へ上がった際につまずきがないよう、指導いただきたい。

花淵委員 学びの連携推進室として、仙台市標準学力検査と全国学力・学習状況調査は、同じものと考えているか、それとも別なものと考えているか。もちろん対象は違うが、結果は同じような手法で分析していると思うので、その辺りについて考えを聞かせてほ

しい。

学びの連携推進室長 まず1つは、対象学年の違いがあり、全国学力・学習状況調査は小学6年生と中学3年生を対象にした調査で、全学年の学力状況を確認するためには、2学年では十分に分析できないなということで、学年の対象を広げて本市独自の調査を行っているものである。

また、全国調査は全国の平均はどれくらいで、それに対して仙台市がどうであったかという、全国の中での学力の比較が行われているが、本市では標準学力検査としており、達成度がどうだったかを見ている。平均点ではなく、到達してほしい目標を設定し、その設定した目標と比較してどれだけ学力が達成されているかを見るようにしている。

どちらもそれぞれよい点、劣る点はあると思うが、それらを合わせることで少しでも総合的な分析を行いたいと考えている。

花 刈 委 員 仙台市の場合小学2年生から中学校までの全学年、全国では小学6年生と中学3年生の2つの学年にスポットを合わせているということだが、結果活用の流れがほぼ同じようになっていると思う。もし違う調査という考えであれば、違う活用になると思ったので、来年度の検討課題にさせていただければと思う。

学びの連携推進室長 学力の測り方が違うが、捉えるべきは子どもたちの学習の状況、達成度なので、そういう点からの分析を併せて実施し、少しでも子どもたちの学力を向上させたい。特に、先ほどグラフの形について指摘いただいたが、できる子どもがいる一方、下位に寄っていく子どもたちもおり、そうした子どもたちにどう対応していくかということに力を入れていきたいと考えている。義務教育における大事な視点だと思うので、ご指摘いただいた点を改めて見直しながら、分析に生かしてまいりたい。

5 付 議 事 項

第 16 号議案 令和5年度仙台市立鶴谷特別支援学校高等部入学者選考方針について

(特別支援教育課長 説明)

原案のとおり決定

第 17 号議案 令和3年度の教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価について

(総務課長 説明)

資料に基づき説明

山 田 委 員 7月の定例会でもいろいろな議論があり、その結果を様々反映していただきありがたいと思う。丁寧に対応いただいたので、これ以上の変更意見があるわけではないが、これだけの膨大な取組みをこれからもやるのか、実際的に全てきちんとできるのかという気がしており、どこに重点を置いて、どのようにやっていくのかを、もう少し考えてもいいのではないかと思います。

また、こちらは報告書で、報告後にこの結果に対してどうであったかを今後見ていく必要があると思うが、これだけの量があると、それもかなり大変だと思う。そこで、例えばITを活用して数値に関してはすぐ集計できるようにするなど、やり方はいろいろあると思うが、今後はその辺りも含め、少しずつでも中身を精査していただ

ればと思う。

教 育 長 事業がかなりの数になっており、事業ごとに担当課できちんと検証した上で次にどう生かしていくかということにはなるが、まとめる際に、どのようなまとめ方がいいのかについては、引き続き検討をしていかなければならないと思う。

原案のとおり決定

第 18 号議案 市議会の議決を経るべき事案に係る市長への意見の申出について

(1) 令和 3 年度決算の認定について

(総務課長 説明)

原案のとおり決定

(2) 財産の取得に関する件 (学習者用コンピュータ)

(ICT 教育推進担当課長 説明)

原案のとおり決定

(3) 仙台市職員退職手当条例及び仙台市立学校職員退職手当条例の一部を改正する条例

(教職員課長 説明)

原案のとおり決定

6 閉 会